

2015年9月期 決算説明会資料

2015年11月16日(大阪)
11月18日(東京)



1. 2015年9月期決算サマリー

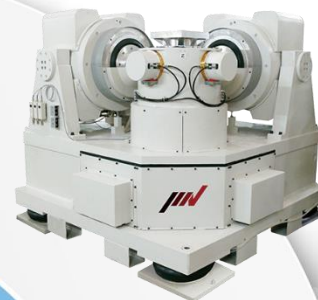
2. 今後の取り組み

(ご参考資料)



メジャリングシステム

MES
Measuring
Systems



TSS
Test & Solution
Service

テスト&ソリューションサービス

15%

売上
構成比

振動シミュレーションシステム
(振動試験装置・複合試験装置)

76%

DSS
Dynamic
Simulation
Systems





(単位:百万円)

	15/9期 実績	14/9期 実績	コメント
売上高	9,170	7,863	自動車関連業界を中心に順調に売上が推移し、前年同期比116.6%の増収となりました。
経常利益	1,400	1,244	増収効果により、前年同期比112.5%の増益となりました。
純資産	4,539	3,729	当期純利益(902百万円)の計上により順調に増加しました。
フリーキャッシュフロー	△334	149	営業活動による収入は増加したものの、設備関連の支出が増加したことによりフリーキャッシュフローは減少しました。
売上高経常利益率	15.3%	15.8%	売上構成比率の変更の影響により低下しました。
自己資本比率	41.3%	39.9%	当期純利益(902百万円)の計上により純資産が増加し、財務安全性がさらに向上しました。
自己資本当期純利益率 (ROE)	21.8%	20.9%	当期純利益(902百万円)の計上により、自己資本当期純利益率もさらに向上しました。

決算概要(連結)



(単位:百万円)

	15/9期 実績	14/9期 実績	増減額	増減率	15/9期 予想	増減率
受注高	9,768	8,215	+1,552	+18.9%	—	—
売上高	9,170	7,863	+1,306	+16.6%	8,300	+10.5%
営業利益 (営業利益率)	1,377 (15.0%)	1,188 (15.1%)	+188	+15.9%	1,250 (15.1%)	+10.2%
経常利益 (経常利益率)	1,400 (15.3%)	1,244 (15.8%)	+155	+12.5%	1,300 (15.7%)	+7.7%
当期純利益 (当期純利益率)	902 (9.8%)	713 (9.1%)	+189	+26.5%	780 (9.4%)	+15.8%
設備投資額	1,534	312	+1,221	+391.1%	458	234.7%
減価償却費	226	205	+20	+9.9%	231	△2.5%
研究開発費	515	484	+30	+6.3%	618	△16.6%
従業員数(人)※	242	223	+19	+8.5%	233	+3.9%

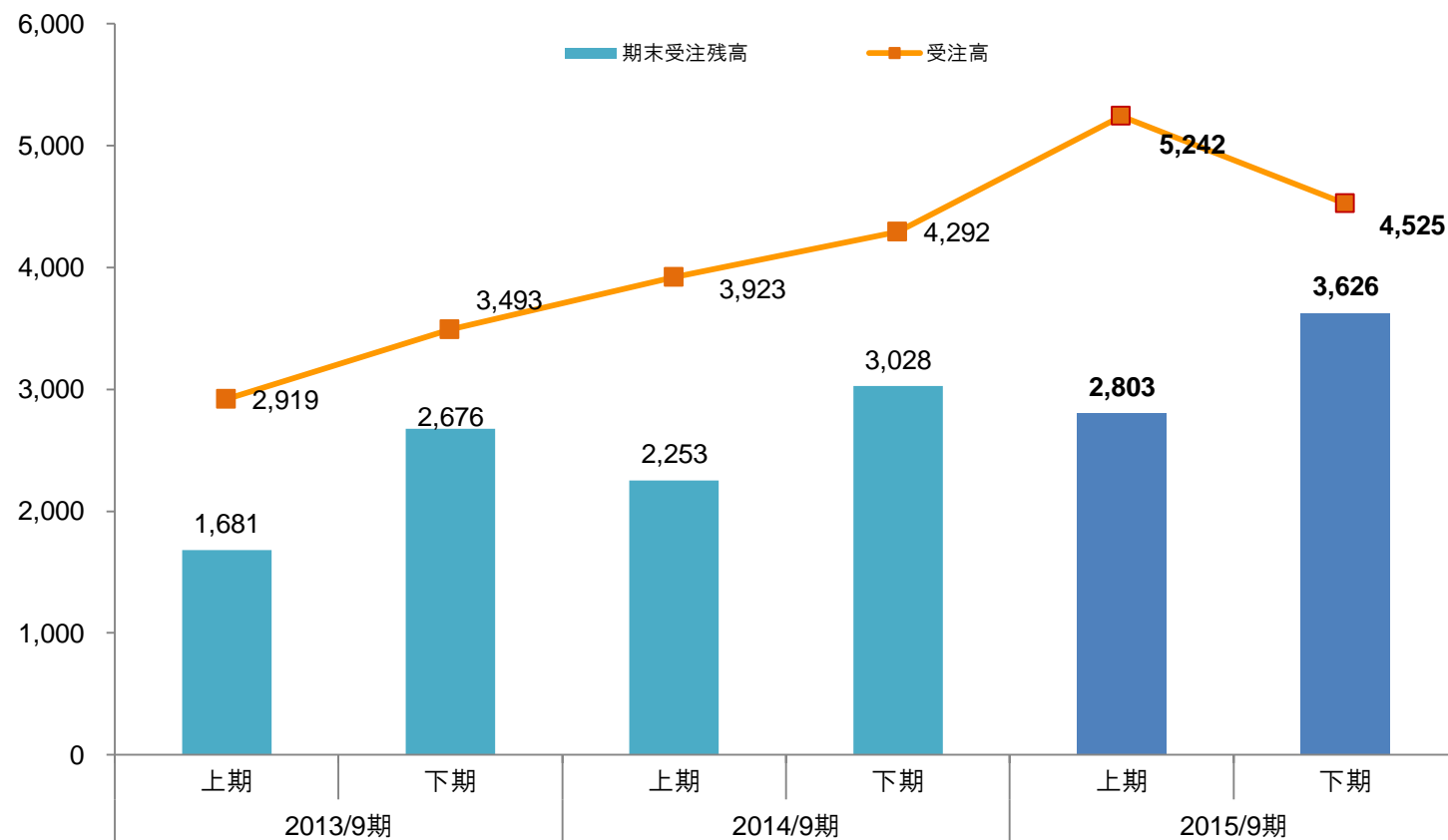
※△は損失、減少を表します。従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

売上高は前期比1,306百万円増収の9,170百万円となりました。増収効果により、営業利益は前期比188百万円増益の1,377百万円、経常利益は前期比155百万円増益の1,400百万円となりました。当期純利益は前期比189百万円増益の902百万円となりました。

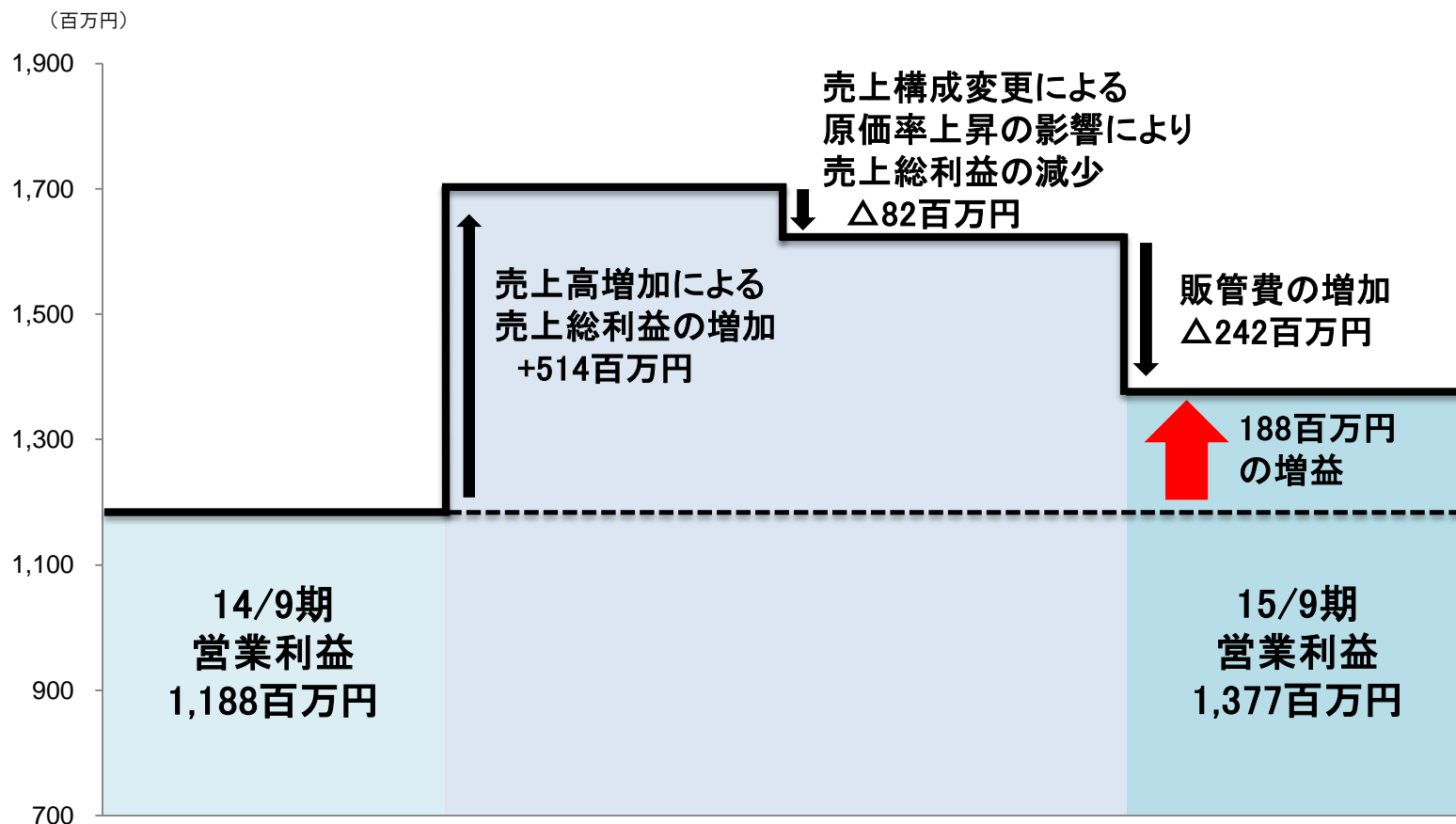
受注の状況



(百万円)

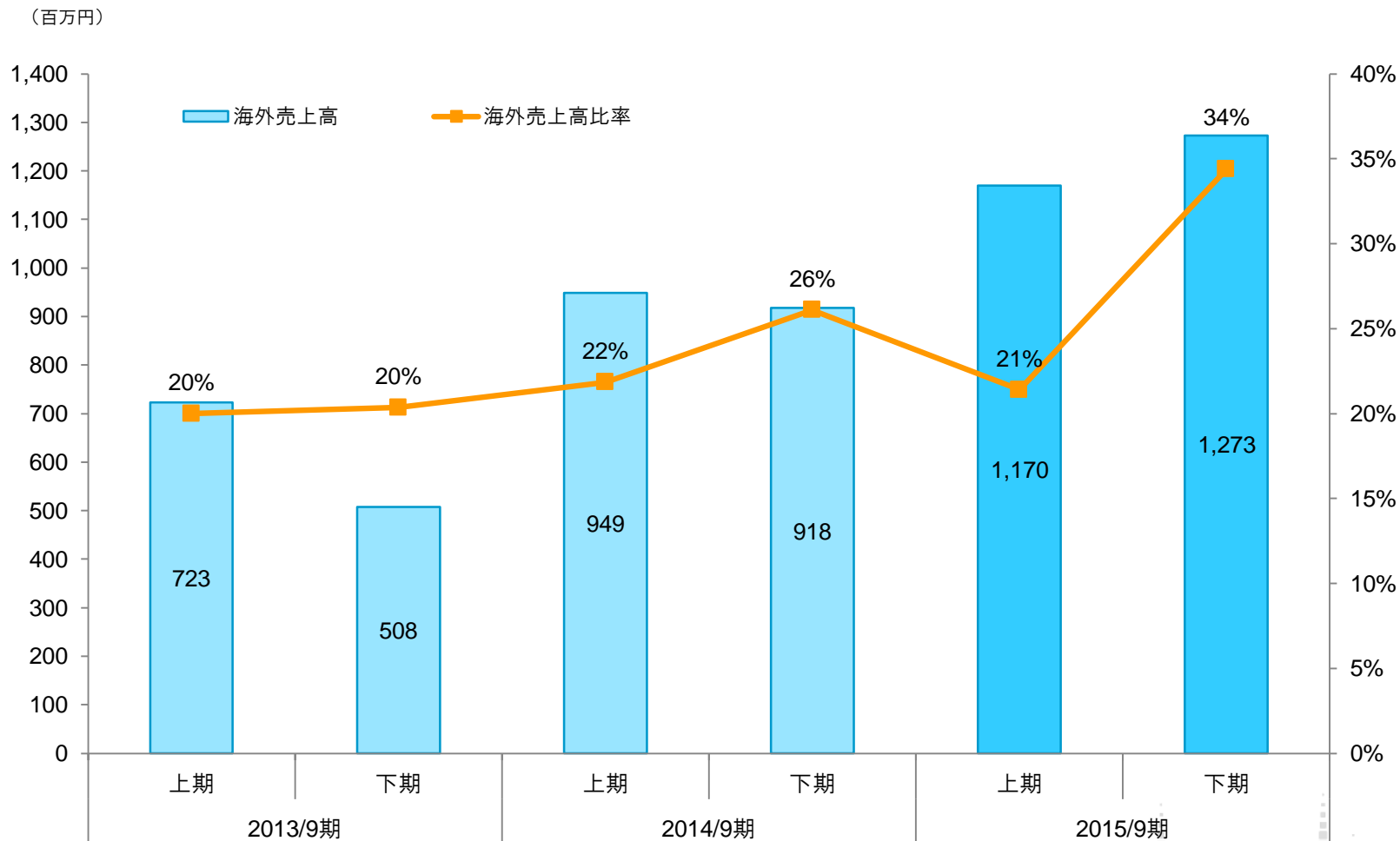


営業利益増減要因(連結)



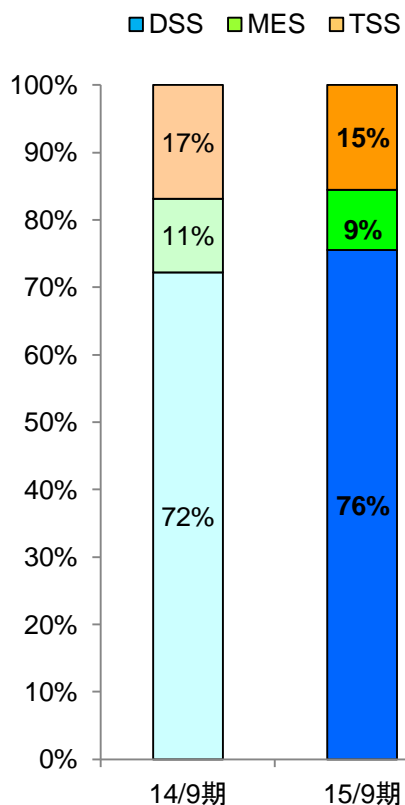
人材確保による労務費の増加、新製品開発による研究開発費の増加等により販管費が増加しましたが、増収による売上総利益の増加が大きく、営業利益は188百万円の増益となりました。

海外売上高比率の増減

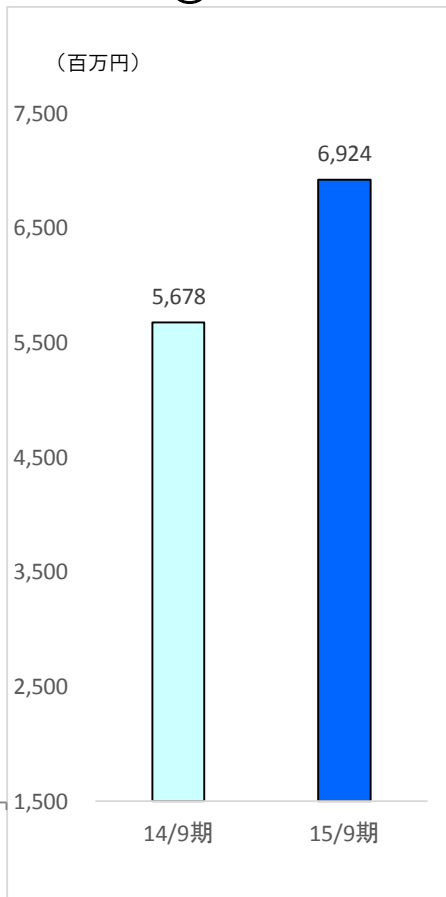




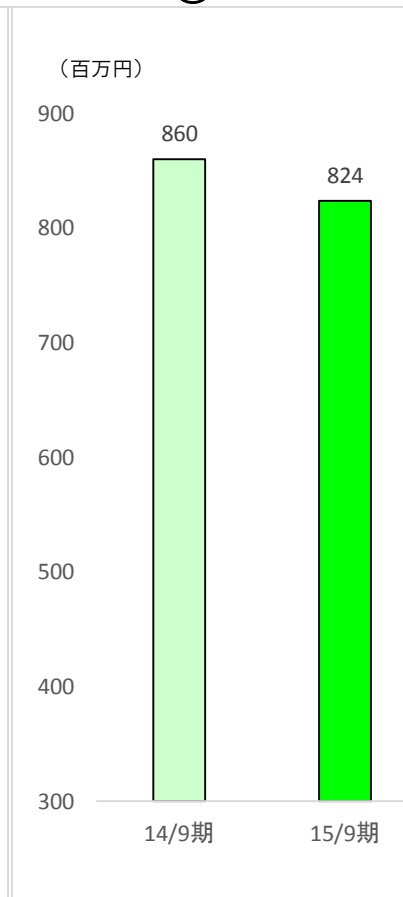
○ 品目別売上構成率



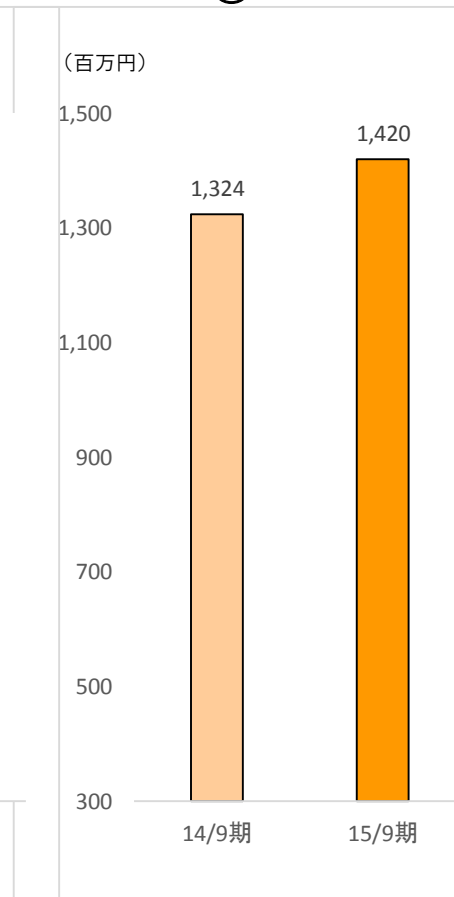
○ DSS



○ MES



○ TSS



DSSの国内、海外売上が増加し品目別売上構成率は76%となりました。また、TSSは順調に通期における過去最高売上高を更新しております。

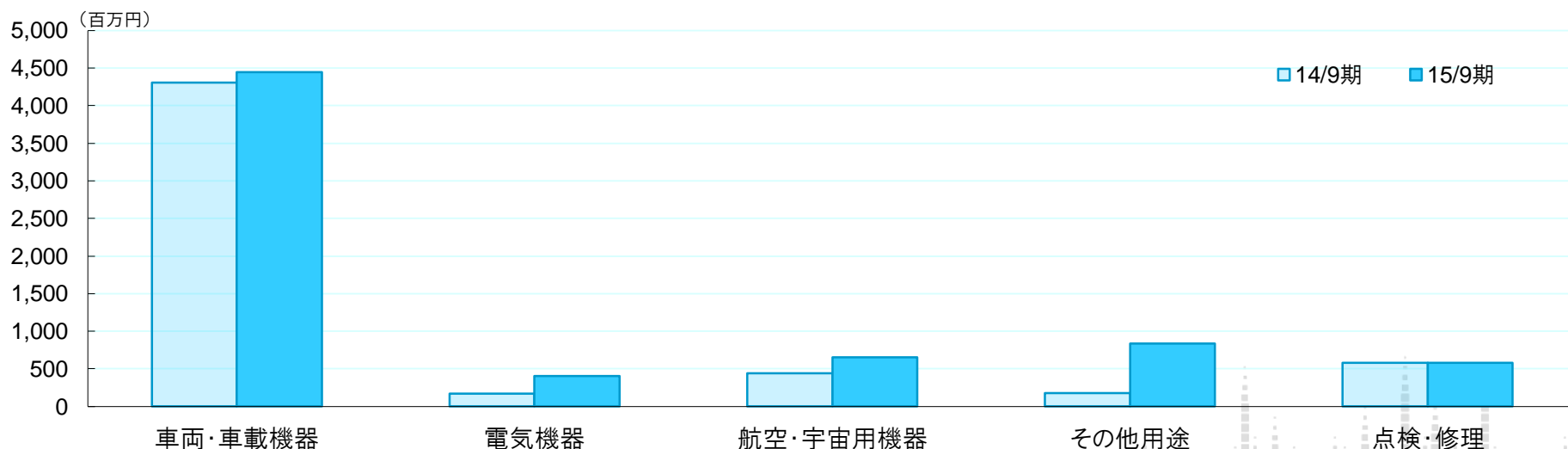
DSS ～概況～



(単位:百万円)

	15/9期	14/9期	増減額	増減率
車両・車載機器向け	4,444	4,305	+139	+3.2%
電気機器向け	402	171	+230	+134.5%
航空・宇宙用機器向け	657	444	+213	+48.0%
その他用途向け	839	176	+662	+374.7%
点検・修理	580	580	+0	+0.1%
合計	6,924	5,678	+1,245	+21.9%

- 車両・車載機器向け売上は、リチウムイオン電池、EV対応用検査装置仕様の増加に伴い好調に推移いたしました。
- ヨーロッパ及び中国・韓国において車両・車載機器向けのDSS売上も増加しております。
- 航空・宇宙用機器向け売上は、大型案件を計上し、順調に推移しております。



MES ~概況~

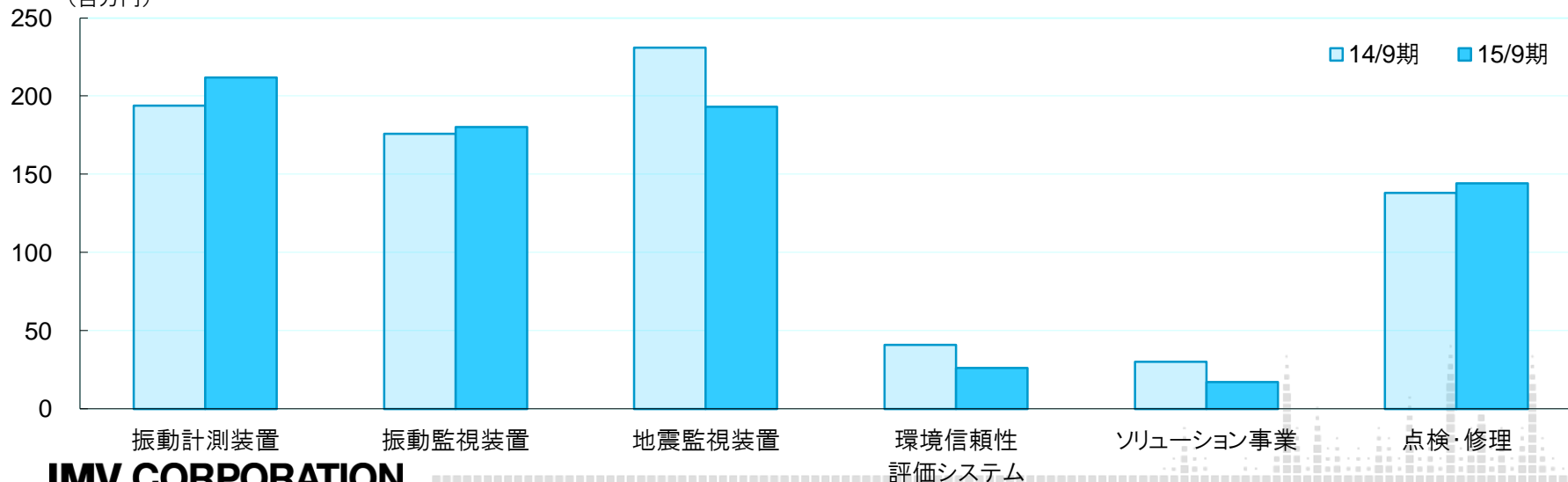


(単位:百万円)

	15/9期	14/9期	増減額	増減率
振動計測装置	212	194	+17	+9.2%
振動監視装置	180	176	+3	+2.0%
地震監視装置	193	231	△38	△16.5%
環境信頼性評価システム	26	41	△14	△36.0%
ソリューション事業	17	30	△13	△43.8%
点検・修理	144	138	+5	+4.2%
子会社外部売上	50	47	+3	+6.9%
合計	824	860	△35	△4.1%

- メジャリングシステムの分野におきましては、中国・台湾への地震監視装置及びフィリピン・トルコでの市場開拓等、販路拡大に向けた活動を行い、また、国内において発電所向けの振動監視装置の販売も順調に推移いたしました。地震監視装置の販売の伸び悩みにより、減収となりました。

(百万円)



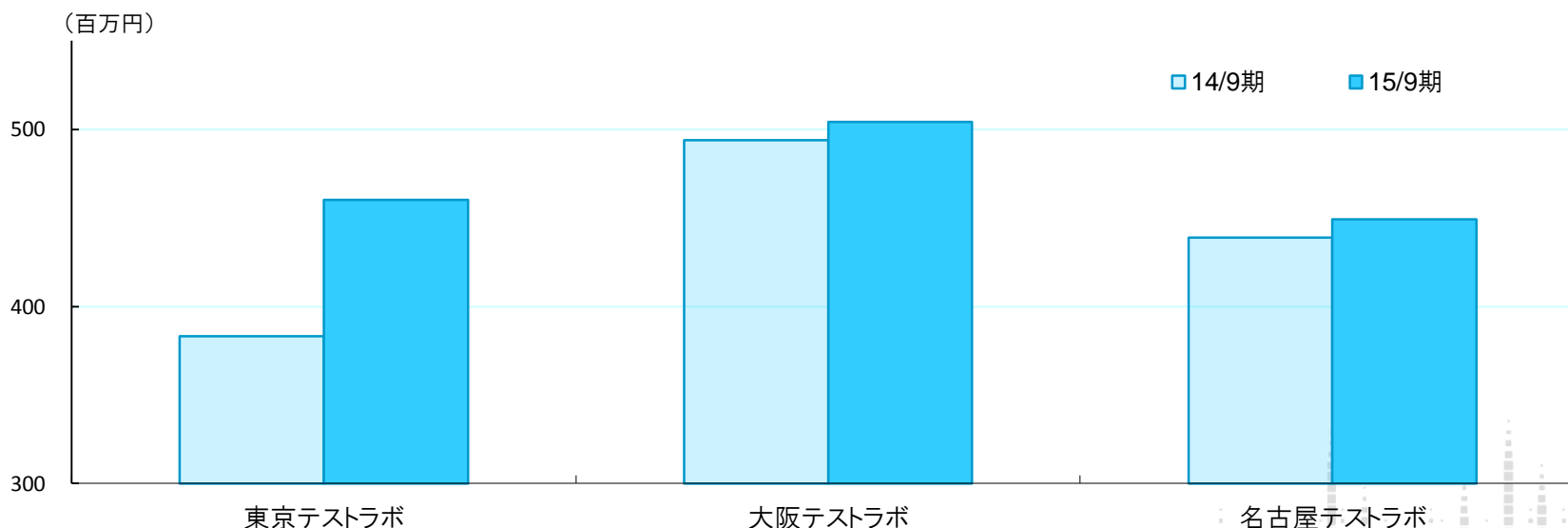
TSS ~概況~



(単位:百万円)

	15/9期	14/9期	増減額	増減率
東京テストラボ	460	383	+77	+20.2%
大阪テストラボ	504	494	+9	+1.9%
名古屋テストラボ	449	439	+10	+2.3%
子会社外部売上	6	6	△0	△0.4%
合計	1,420	1,324	+96	+7.3%

- 東京テストラボは、自動車関連業界や発電所向けの大型試験機の受託試験が順調に推移。
- 大阪テストラボは、鉄道車両用機器向けの試験や温湿度・振動複合環境シミュレーションシステムによる試験が順調に推移。
- 名古屋テストラボは、自動車関連業界のHV・EV関連等の試験が引き続き好調。



業績の見通し(連結)



(単位:百万円)

	16/9期 予想	15/9期 実績	増減額	増減率
売上高	9,500	9,170	+329	+3.6%
営業利益 (営業利益率)	1,200 (12.6%)	1,377 (15.0%)	△177	△12.9%
経常利益 (経常利益率)	1,250 (13.2%)	1,400 (15.3%)	△150	△10.7%
当期純利益 (当期純利益率)	800 (8.4%)	902 (9.8%)	△102	△11.4%
設備投資	444	1,534	△1,089	△71.0%
減価償却費	430	226	+204	+90.3%
研究開発費	617	515	+101	+19.8%
従業員数(人)※	250	242	+8	+3.3%
1株当たり配当金(円)※	6.50	6.50	—	—

※ 従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

※ 15/9期の配当金につきましては、2015年12月開催予定の定時株主総会において上記配当金を附議する予定です。



1. 2015年9月期決算サマリー

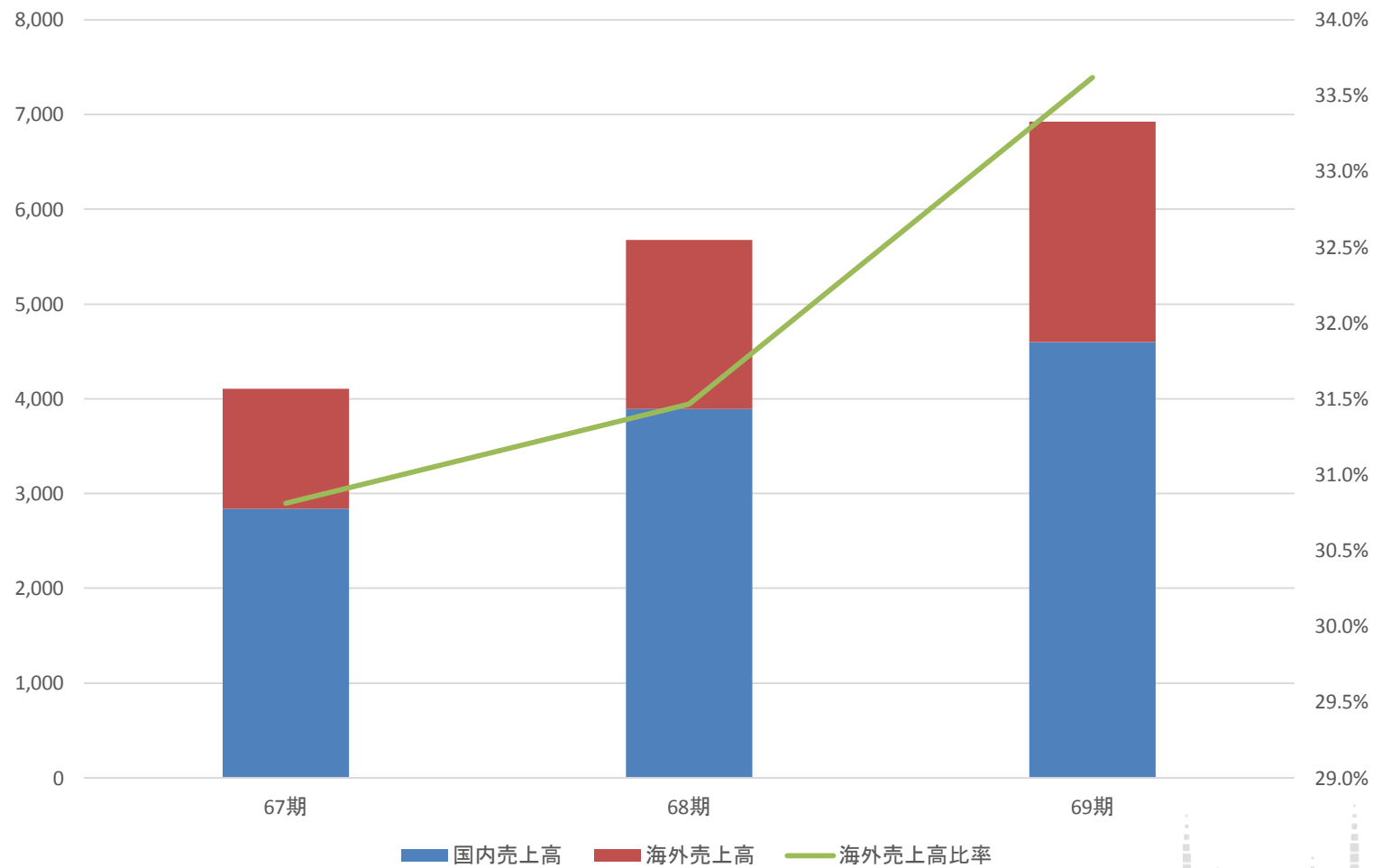
2. 今後の取り組み

(ご参考資料)



振動シミュレーションシステムにおける海外売上高の推移

(百万円)

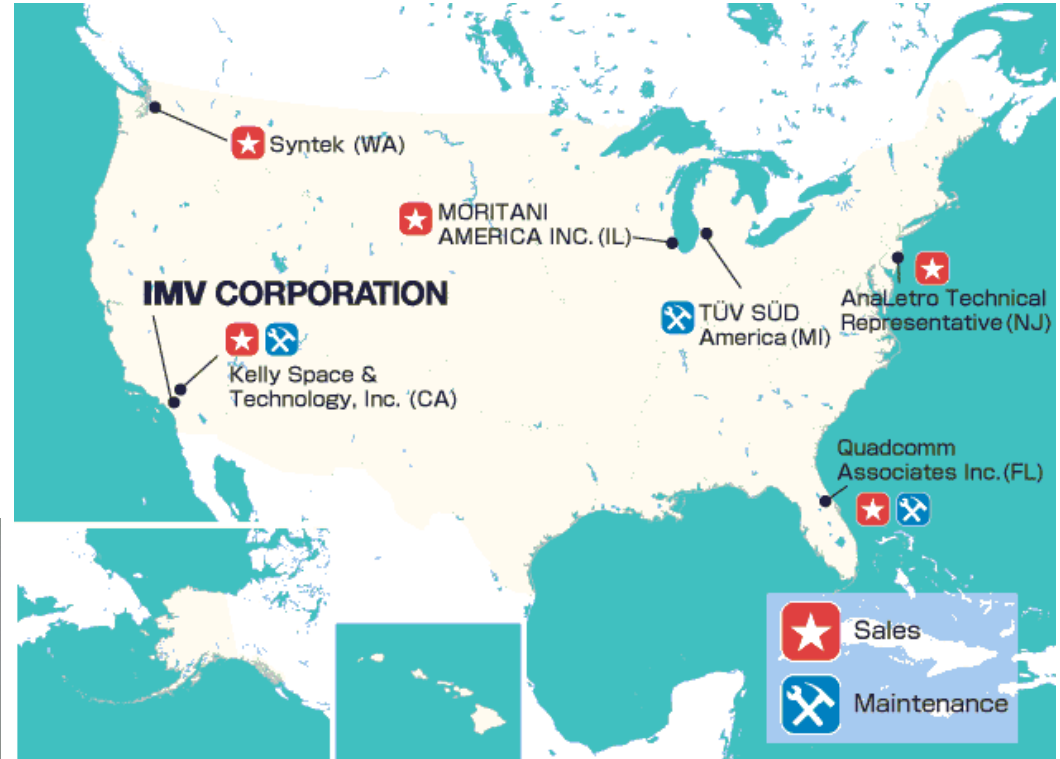




イギリス



アメリカ





高性能加速度 センサモジュール

- ・微小加速度を検知可能
- ・低周波から測定可能

HM-0013

- ・地震検知・高層物の監視・国土強靱化計画

VP-8013

- ・機械設備のモニタリング

エレベーター用
感震器

- ・高層エレベーターの監視

随時開発中



TSS事業

東京テストラボ上野原サイト「高度試験センター」



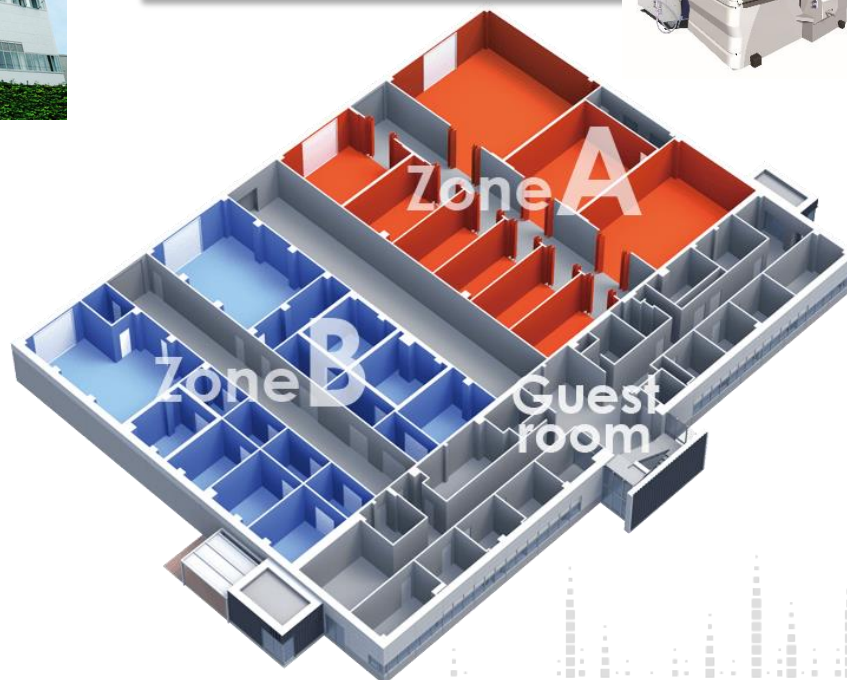
振動試験ゾーン

振動試験ゾーンは、全部で9室。
長尺の大型試供品への対応をはじめ、垂直水平複合、
3軸耐震試験装置といった設備ラインナップでお客様
からの多岐にわたるご要望にお応えいたします。



電池試験ゾーン

電池試験ゾーンは、電気自動車やハイブリッド専用
リチウムイオン電池といった車載電池の試験ゾーン
です。充電状態での加振試験・衝撃試験及び温度サ
イクルといった新試験分野に対応いたします。

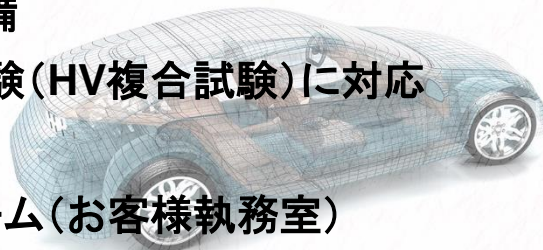




振動試験

多様なニーズに応える充実の振動試験設備・装備

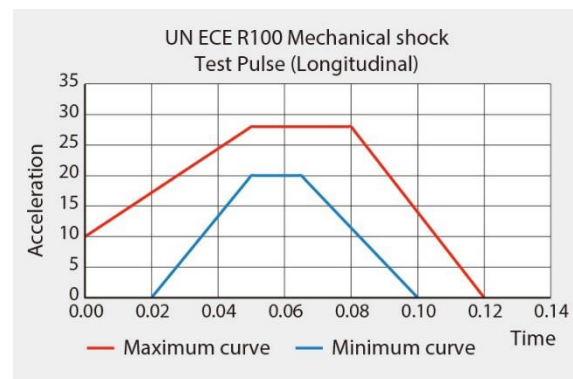
- 大型試験機を配備
- 水平垂直複合試験(HV複合試験)に対応
- 3軸耐震試験機
- 高機能ゲストルーム(お客様執務室)
- 高速度カメラを常備



電池試験

ECE-R100、UN規格をはじめとする
リチウムイオン電池の振動・衝撃・温度・落下衝撃試験に対応

- 防爆・防火対策及び
排ガス処理装置装備の試験室完備
- あらゆるレベルの充電状態での
振動・衝撃温度試験に対応
- ECE-R100指定の「8c.機械的衝撃試験」波形を
忠実に再現可能(自社開発試験機)





70期経営方針

IMV 品質の認識とその確立

品質保証部 社長直轄部署として設置

- 次工程に不良を流出させない仕組み作り。
- 製品の特性や耐久性に関する実力値を把握する。
- ISO9001－2015年版の認証取得



ありがとうございました



代表取締役会長

小嶋 成夫

代表取締役社長

小嶋 淳平

経営企画本部長代行

濱里 一也

■ お問い合わせ先

IR窓口：経営企画本部経理部 IR担当 坂本

TEL：06-6478-2565

FAX：06-6478-2567

E-MAIL：imvir@imv.co.jp

<http://www.imv.co.jp>

○免責事項

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。



1. 2015年9月期決算サマリー

2. 今後の取り組み

(ご参考資料)

貸借対照表の概要(連結)



(単位:百万円)

	15/9期末	14/9期末	増減額		15/9期末	14/9期末	増減額
流動資産	6,632	6,295	+336	流動負債	4,755	4,766	△10
現金預金	1,623	1,700	△77	仕入債務	2,117	1,355	+761
売上債権	2,786	2,718	+67	短期有利子負債	1,697	2,194	△497
棚卸資産	1,902	1,602	+300	その他流動負債	941	1,215	△274
その他流動資産	319	274	+45	固定負債	1,685	855	+830
固定資産	4,348	3,056	+1,292	長期有利子負債	1,395	557	+838
有形固定資産	4,085	2,812	+1,273	その他固定負債	289	298	△8
無形固定資産	33	29	+4	負債合計	6,441	5,621	+819
投資その他資産	229	214	+14	純資産合計	4,539	3,729	+809
資産合計	10,980	9,351	+1,629	負債・純資産合計	10,980	9,351	+1,629

資産の部 : 棚卸資産が300百万円増加し、有形固定資産は1,273百万円増加いたしました。

負債の部 : 仕入債務が761百万円増加し、短期有利子負債は497百万円減少いたしました。

長期有利子負債は、838百万円増加いたしました。

純資産の部 : 純資産は809百万円増加いたしました。

キャッシュフロー計算書の概要(連結)



(単位:百万円)

		15/9期	14/9期	増減額
①	営業活動によるキャッシュ・フロー	1,142	463	+679
②	投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,477	△313	△1,163
①+②	フリーキャッシュフロー	△334	149	△484
③	財務活動によるキャッシュ・フロー	242	203	+39
④	現金及び現金等価物に係る換算差額	3	23	△19
⑤	現金及び現金同等物の増減額	△87	375	△463
⑥	現金及び現金同等物期首残高	1,487	1,111	+375
⑦	現金及び現金同等物期末残高	1,399	1,487	△87

営業CF : 税金等調整前当期純利益1,399百万円及び仕入債務の増加785百万円等の増加要因が、棚卸資産の増加314百万円等の減少要因を上回ったことにより、1,142百万円の増加となりました。

投資CF : 東京テストラボ上野原サイトの設備投資等の有形固定資産の取得による支出1,476百万円等により、1,477百万円の減少となりました。

フリーキャッシュフロー: 有形固定資産取得による支出の増加によりフリーキャッシュフローは△334百万円となり、前年同期比484百万円減少いたしました。

財務CF : 長期借入による収入1,761百万円等による増加要因が短期借入金の純減額600百万円及び長期借入金の返済による支出819百万円等の減少要因を上回ったことにより、242百万円の増加となりました。



商号	IMV株式会社 [英文社名] IMV CORPORATION
会社設立	1957年(昭和32年)4月17日
資本金	4億6481万円
従業員数	242名 (2015年9月30日現在 連結)
年間売上高	91億7,049万円 (2015年9月期 連結)
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場
証券コード	7760
決算期	9月30日





- 1957 株式会社国際機械振動研究所(旧社名)を設立
- 1988 東京テストラボ開設
- 2005 ジャスダック証券取引所に上場
- 2011 10月、英国に IMV CORPORATION EUROPEAN TECHNICAL CENTRE を開設
(現 IMV EUROPE LIMITED)
- 2012 1月、タイに IMV (THAILAND) CO., LTD. (子会社)を設立
11月、ドイツに IMV CORPORATION German Sales Office を開設
(現 IMV EUROPE LIMITED German Sales Office)



IMV EUROPE LIMITED



IMV (THAILAND) CO.,
LTD.



IMV EUROPE LIMITED
German Sales Office



IMV株式会社 上海代表所

- 2013 5月、IMV株式会社 上海代表所を設立

- 2015 1月、英国にIMV EUROPE LIMITED European Manufacturing Centreを開設
11月、東京テストラボ 上野原サイト 高度試験センターを開設



IMV EUROPE LIMITED
European Manufacturing Centre



東京テストラボ 上野原サイト
高度試験センター



[SECURE THE FUTURE]



IMVが見守る未来

IMVは1957年の設立以来、振動問題のソリューションパートナーとしてさまざまな分野と携わってきました。これからも、製品→パートナー→社会に対して、信頼を形にする企業であり続けます。

Future

安全を見つめて未来の社会に貢献します。

IMV work with our customers and investors to secure their future, developing the products, skills and resources that will bring success. IMV appreciate this and work fast to meet our Partners' future needs.

Integrity

誠実で開かれたパートナーシップを大切にします。

IMV treat our customers, suppliers and investors with the highest of integrity, dealing with all our partners in an open and honest manner. IMV work hard to earn and keep your trust.

Reliability

製品とサービス、すべてに信頼を作り込みます。

Our customers use IMV's products to ensure reliability and performance. We build this reliability into all our products and services. IMV will be there when you need us.

Strength

振動技術の世界リーダーとして経営基盤を強化します。

IMV's financial strength means we will be a long-term partner for our customers and able to invest in the research for new products. IMV have the strength in finances, products and people to serve our customers on a global basis. We have the strength to be the World's Number 1 Vibration Test and Measurement Company.

Technology

顧客ニーズに俊敏に応える技術を開発します。

IMV invest substantially in research to understand our Customers' needs and the products to meet those needs. IMV have been the first to market with many new products and technologies and we will continue to lead the market through technology and innovation for the benefit of our customers and investors.